

定期作況報告（最終）

（第7号 平成21年11月20日現在）

北海道立上川農業試験場

1. 気象概況

《平成20年》

11月：平年に比べ最高気温は上、下旬が各々2.1、2.5 低く、中旬が2.3 高かった。最低気温は上、下旬が各々3.4、5.2 低く、中旬が0.2 高かった。平年に比べ降水量は上旬が33.6mm多く、中、下旬が各々16.7mm、7.0mm少なかった。日照時間は上、下旬が各々0.1時間、0.6時間少なく、中旬が11.8時間多かった。

12月：平年に比べ最高気温は上、中、下旬とも各々6.2、3.1、1.7 高かった。最低気温は上、下旬が各々1.5、2.7 高く、中旬は平年と変わらなかった。平年に比べ降水量は上、中旬が各々0.7mm、18.3mm少なく、下旬が5.7mm多かった。日照時間は上、中旬が各々8.8時間、0.6時間多く、下旬が14.0時間少なかった。

《平成21年》

1月：平年に比べ最高気温は上、中、下旬とも各々1.2、4.3、2.9 高かった。最低気温は上、中、下旬とも各々0.8、5.4、0.2 高かった。平年に比べ降水量は上、中、下旬とも各々18.5mm、0.9mm、8.6mm少なかった。日照時間は上、中、下旬とも各々2.8時間、3.0時間、5.2時間少なかった。

2月：平年に比べ最高気温は上、中旬が各々1.0、1.3 高く、下旬が平年並であった。最低気温は上、下旬が各々0.7、0.4 低く、中旬が1.7 高かった。平年に比べ降水量は上、下旬が各々4.8mm、3.5mm少なく、中旬が12.2mm多かった。日照時間は上旬が2.6時間多く、中、下旬が各々15.5時間、7.2時間少なかった。

3月：平年に比べ最高気温は上、中旬が各々2.7、2.1 高く、下旬が1.1 低かった。最低気温は上旬が平年と変わらず、中旬が2.7 高く、下旬が0.9 低かった。平年に比べ降水量は上、下旬が各々5.8mm、0.8mm少なく、中旬が14.2mm多かった。日照時間は上、中旬が各々7.5時間、12.6時間少なく、下旬が3.8時間多かった。

4月：平年に比べ最高気温は上、中旬が各々2.2、1.9 高く、下旬が1.2 低かった。最低気温は上、中、下旬とも各々0.7、0.7、2.0 低かった。平年に比べ降水量は上、中、下旬とも各々2.9mm、14.8mm、0.3mm少なかった。日照時間は上、中、下旬とも各々34.2時間、33.6時間、6.3時間多かった。

5月：平年に比べ最高気温は上旬が5.9 高く、中、下旬が各々0.2、0.1 低かった。最低気温は上旬が0.7 高く、中、下旬が各々1.0、0.1 低かった。平年に比べ降水量は上、下旬が各々31.3mm、8.9mm少なく、中旬が0.3mm多かった。日照時間は上、中、下旬とも各々34.4時間、23.9時間、14.0時間多かった。

6月：平年に比べ最高気温は上、中旬が各々1.3、4.2 低く、下旬が2.9 高かった。最低気温は

上、下旬が各々1.3、1.7 高く、中旬が0.8 低かった。平年に比べ降水量は上旬が7.3mm少なく、中、下旬が各々10.1mm、32.5mm多かった。日照時間は上、中旬が各々20.4時間、17.9時間少なく、下旬が13.4時間多かった。

7月：平年に比べ最高気温は上、中、下旬とも各々0.9、3.9、2.3 低かった。最低気温は上旬が1.1 高く、中、下旬が各々2.9、0.3 低かった。平年に比べ降水量は上、中、下旬とも各々35.2mm、57.5mm、30.7mm多かった。日照時間は上、中、下旬とも各々1.4時間、2.4時間、26.6時間少なかった。

8月：平年に比べ最高気温は上旬が1.1 高く、中、下旬が各々1.5、1.9 低かった。最低気温は上、下旬が各々0.5、1.2 低く、中旬は0.8 高かった。平年に比べ降水量は上、下旬が各々37.3mm、6.9mm少なく、中旬が13.3mm多かった。日照時間は上旬が32.5時間多く、中、下旬が各々21.9時間、9.8時間少なかった。

9月：平年に比べ最高気温は上、中旬が各々2.2、0.1 低く、下旬が0.9 高かった。最低気温は上、中旬が各々2.3、1.8 低く、下旬が0.1 低かった。平年に比べ降水量は上、下旬が各々31.4mm、2.1mm多く、中旬が33.6mm少なかった。日照時間は上旬が2.4時間少なく、中、下旬が各々11.8時間、11.0時間多かった。

10月：平年に比べ最高気温は上旬が0.5 低く、中、下旬が各々0.5、0.4 高かった。最低気温は上、中、下旬とも各々1.4、0.9、0.3 低かった。平年に比べ降水量は上旬が33.3mm多く、中、下旬が各々4.4mm、5.2mm少なかった。日照時間は上、中、下旬とも各々4.4時間、10.5時間、0.4時間少なかった。

根雪終は4月6日で平年より6日早く、積雪期間は平年より2日短かった。耕鋤始は4月16日で平年より4日早かった。晩霜は平年より4日遅い5月16日である（表1）。

平成20年11月から平成21年10月までの気象は表2の通りである。

表1 季節

	初霜 (前年)	降雪始 (前年)	根雪始 (前年)	根雪終 (本年)	積雪期間 (日)	降雪終 (本年)	耕鋤始 (本年)	晩霜 (本年)	初霜 (本年)	降雪始 (本年)	無霜期間 (日)
本年	10月16日	10月29日	11月19日	4月6日	139	5月14日	4月16日	5月16日	9月21日	10月30日	128
平年	10月12日	10月25日	11月23日	4月12日	141	4月24日	4月20日	5月12日	10月2日	10月25日	143
比較	4	4	4	6	2	20	4	4	11	5	15

注1) 前年は平成20年、本年は平成21年の値。

2) 根雪始、根雪終、積雪期間、耕鋤始は比布圃場の観測値。平年は過去10か年の平均値。

3) 初霜、降雪始、降雪終、晩霜は旭川地方気象台による旭川市の観測値。

平年は過去10か年の平均値。

4) 印は平年に比べて早いあるいは短いを示す。

表2 気象表

年 月 旬	最高気温()			最低気温()			平均気温()			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
2008 上	7.0	9.1	2.1	-1.8	1.6	3.4	2.6	5.0	2.4	73.0	39.4	33.6	8	6	2	24.5	24.6	0.1	
	11 中	6.3	4.0	2.3	-1.7	-1.9	0.2	1.7	1.0	0.7	21.0	37.7	16.7	6	7	1	28.7	16.9	11.8
	下	-0.2	2.3	2.5	-9.2	-4.0	5.2	-3.9	-1.0	2.9	34.0	41.0	7.0	5	7	2	18.9	19.5	0.6
12 上	4.2	-2.0	6.2	-6.7	-8.2	1.5	-0.7	-4.8	4.1	33.0	33.7	0.7	5	9	4	25.9	17.1	8.8	
	12 中	0.3	-2.8	3.1	-9.3	-9.3	0.0	-3.4	-5.7	2.3	14.0	32.3	18.3	3	7	4	13.0	12.4	0.6
	下	-2.1	-3.8	1.7	-8.7	-11.4	2.7	-4.8	-7.2	2.4	31.5	25.8	5.7	8	7	1	4.0	18.0	14.0
2009 上	-2.9	-4.1	1.2	-11.7	-12.5	0.8	-6.8	-7.8	1.0	2.0	20.5	18.5	1	7	6	18.1	20.9	2.8	
	1 中	-1.1	-5.4	4.3	-8.8	-14.2	5.4	-4.7	-9.3	4.6	16.5	17.4	0.9	5	6	1	20.8	23.8	3.0
	下	-1.7	-4.6	2.9	-13.2	-13.4	0.2	-6.8	-8.5	1.7	13.0	21.6	8.6	5	6	1	28.1	33.3	5.2
2 上	-3.0	-4.0	1.0	-14.1	-13.4	0.7	-7.7	-8.2	0.5	12.0	16.8	4.8	3	6	3	38.6	36.0	2.6	
	2 中	-2.2	-3.5	1.3	-11.5	-13.2	1.7	-6.3	-7.8	1.5	33.0	20.8	12.2	7	6	1	18.9	34.4	15.5
	下	-1.7	-1.7	0.0	-12.5	-12.1	0.4	-5.7	-6.5	0.8	15.0	18.5	3.5	4	5	1	28.9	36.1	7.2
3 上	1.9	-0.8	2.7	-10.5	-10.5	0.0	-3.9	-5.1	1.2	14.0	19.8	5.8	3	6	3	37.8	45.3	7.5	
	3 中	3.7	1.6	2.1	-4.9	-7.6	2.7	-0.4	-2.6	2.2	31.0	16.8	14.2	4	6	2	28.3	40.9	12.6
	下	2.9	4.0	1.1	-5.3	-4.4	0.9	-0.8	-0.1	0.7	12.0	12.8	0.8	3	5	2	54.7	50.9	3.8
4 上	8.7	6.5	2.2	-3.6	-2.9	0.7	3.0	1.9	1.1	12.0	14.9	2.9	2	4	2	81.7	47.5	34.2	
	4 中	12.5	10.6	1.9	-0.7	0.0	0.7	5.9	5.2	0.7	5.5	20.3	14.8	2	4	2	83.8	50.2	33.6
	下	11.7	12.9	1.2	-0.7	1.3	2.0	5.3	7.1	1.8	16.5	16.8	0.3	2	3	1	56.9	50.6	6.3
5 上	21.6	15.7	5.9	4.2	3.5	0.7	13.6	9.4	4.2	2.5	33.8	31.3	2	4	2	88.3	53.9	34.4	
	5 中	17.6	17.8	0.2	4.9	5.9	1.0	11.2	11.8	0.6	20.5	20.2	0.3	5	4	1	77.8	53.9	23.9
	下	20.0	20.1	0.1	7.9	8.0	0.1	13.6	13.9	0.3	23.0	31.9	8.9	2	4	2	70.7	56.7	14.0
6 上	20.4	21.7	1.3	11.3	10.0	1.3	15.6	15.6	0.0	14.0	21.3	7.3	2	3	1	35.6	56.0	20.4	
	6 中	18.9	23.1	4.2	10.9	11.7	0.8	14.3	17.1	2.8	29.0	18.9	10.1	3	3	0	33.1	51.0	17.9
	下	27.0	24.1	2.9	14.7	13.0	1.7	20.4	18.2	2.2	55.5	23.0	32.5	2	3	1	66.3	52.9	13.4
7 上	23.9	24.8	0.9	15.2	14.1	1.1	19.3	19.1	0.2	67.0	31.8	35.2	2	3	1	44.6	46.0	1.4	
	7 中	21.4	25.3	3.9	13.1	16.0	2.9	16.9	20.2	3.3	117.5	60.0	57.5	6	5	1	34.9	37.3	2.4
	下	24.3	26.6	2.3	16.3	16.6	0.3	19.7	21.2	1.5	102.5	71.8	30.7	9	5	4	23.5	50.1	26.6
8 上	28.4	27.3	1.1	17.6	18.1	0.5	22.3	22.4	0.1	7.5	44.8	37.3	1	4	3	81.4	48.9	32.5	
	8 中	25.4	26.9	1.5	17.4	16.6	0.8	20.7	21.3	0.6	52.0	38.7	13.3	5	3	2	35.2	57.1	21.9
	下	22.9	24.8	1.9	13.8	15.0	1.2	18.2	19.5	1.3	43.0	49.9	6.9	4	5	1	39.5	49.3	9.8
9 上	21.6	23.8	2.2	11.3	13.6	2.3	16.3	18.4	2.1	86.0	54.6	31.4	7	5	2	45.4	47.8	2.4	
	9 中	21.6	21.7	0.1	9.2	11.0	1.8	14.5	16.1	1.6	13.5	47.1	33.6	4	4	0	60.2	48.4	11.8
	下	19.7	18.8	0.9	7.7	7.6	0.1	13.3	12.9	0.4	38.5	36.4	2.1	5	5	0	60.4	49.4	11.0
10 上	16.5	17.0	0.5	5.2	6.6	1.4	10.6	11.3	0.7	71.5	38.2	33.3	8	6	2	39.0	43.4	4.4	
	10 中	15.1	14.6	0.5	2.9	3.8	0.9	8.7	8.9	0.2	25.5	29.9	4.4	5	6	1	34.0	44.5	10.5
	下	12.1	11.7	0.4	2.2	2.5	0.3	7.4	6.8	0.6	28.5	33.7	5.2	6	6	0	35.4	35.8	0.4

- 1) 比布アメダス観測値。
- 2) 平年は比布アメダス前10カ年の平均値。
- 3) 印は平年に比べて減を示す。

表3 農耕期間積算値(5月~9月)

	平均気温()	降水量(mm)	日照時間(hr)
本年	2550	672	797
平年	2626	584	759
比較	76	88	38

- 注1) 比布アメダス観測値。
- 2) 平年は比布アメダス過去10カ年の平均値。
- 3) 印は平年に比べて低いあるいは少ないを示す。

1) 水 稲：不良

事 由：出芽器使用による出芽の揃いは良好であった。育苗期間中は概ね好天に恵まれ、特に日照時間が平年より多く、生育は良好であった。移植時の草丈は平年に比べ1.5～3.5cm高く、主稈葉数は平年より0.2～0.4枚多かった。地上部乾物重は平年を大きく上回った。

移植時とその後の数日、風が強い日が多く、一部で葉先が枯れた。苗の活着は若干遅れたものの、分けつの発生は平年並であった。6月上旬までは草丈がやや低いものの、茎数は平年より多く、主稈葉数は平年並に推移していたが、6月に入ってから日照不足と中旬の低温により中旬の生育は遅延した。

6月20日の主稈葉数は平年より0.5枚程度少なく、 m^2 当たり茎数は平年の80～95%に留まった。草丈は平年より4～6cm程度低かった。

幼穂形成期は平年に比べ4日遅かった。7月中旬の低温により生育進度はさらに遅れ、止葉期は「ほしのゆめ」「ななつぼし」で平年より5日、「きらら397」は8日遅かった。

7月20日の主稈葉数はほぼ平年並であった。 m^2 当たり茎数は「ほしのゆめ」が平年対比96%でやや少ないものの、「きらら397」「ななつぼし」はほぼ平年並に回復した。草丈は平年より10～12cm程度低かった。

出穂期は平年より7日遅かった。穂揃い日数は平年並であった。最終止葉葉数は「ななつぼし」が平年より0.2枚少なかったが、他はほぼ平年並であった。

8月中旬から続く平年を下回る低温により、成熟期は出穂時よりも平年比でさらに遅れ、「ほしのゆめ」「ななつぼし」が12日、「きらら397」は10日遅れた。登熟日数は、「ほしのゆめ」「ななつぼし」が平年より5日、「きらら397」は3日多かった。成熟期における稈長は平年より2～3cm程度長かった。穂長は16cm前後で平年より0.5～0.7cm短かった。 m^2 当たり穂数は「きらら397」が平年よりわずかに多かったものの、他はやや少なかった。

[籾数]：一穂籾数は「きらら397」が平年より16%多く、他はやや多かった。 m^2 当たり籾数（ m^2 当たり穂数×一穂籾数）は「きらら397」が平年より18%多く、「ほしのゆめ」「ななつぼし」は2%少なかった。

[稔実歩合・稔実籾数]：稔実歩合はいずれの品種も平年に比べ低く、63～74%に留まった。 m^2 当たり稔実籾数（ m^2 当たり籾数×稔実歩合）も平年を大きく下回り、平年の76～81%であった。

[登熟歩合・ m^2 当たり登熟籾数]：登熟歩合は稔実歩合が低かったため平年の71～86%と低かった。 m^2 当たり登熟籾数（ m^2 当たり籾数×登熟歩合）はいずれの品種も平年を大きく下回り、平年の72～84%であった。

[精玄米千粒重]：いずれの品種も平年より1g以上軽かった。

[精玄米重]：粒厚1.90mm以上の収量は平年対比で69～83%ときわめて少収であった。

[検査等級]：いずれの品種も1等であった。

以上、収量が平年を大幅に下回り、3品種こみにした収量は平年対比74%であった。このため、本年の作況は「不良」である。

表4 平成21年度 水稻の生育および収量

		品種・苗	ほしのゆめ・成苗		きらら397・成苗		ななつぼし・成苗		
		年次	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
生育期	播種期	(月・日)	4.14	4.13	4.14	4.13	4.14	4.13	
	移植期	(月・日)	5.19	5.19	5.19	5.19	5.19	5.19	
	幼穂形成期	(月・日)	6.28	6.24	6.30	6.26	6.28	6.24	
	止葉期	(月・日)	7.16	7.11	7.21	7.13	7.16	7.11	
	出穂期	(月・日)	7.30	7.23	8.01	7.25	7.31	7.24	
	穂揃日数	(日)	7	7	6	6	7	7	
	成熟期	(月・日)	9.18	9.06	9.22	9.12	9.22	9.10	
	登熟日数	(日)	50	45	52	49	53	48	
苗生育	生育日数	(日)	157	146	161	152	161	150	
	草丈	(cm)	15.2	11.7	13.0	11.5	14.1	11.9	
	葉数	(枚)	4.3	3.9	4.4	4.2	4.3	4.0	
	茎数	(本)	1.9	1.9	1.9	1.9	1.8	1.7	
	第1葉鞘高	(cm)	2.8	2.7	2.5	2.5	2.6	2.6	
本田生育	地上部乾物重	(g/100本)	5.15	3.74	4.27	3.90	5.03	4.00	
	主稈葉	6月10日	(枚)	6.5	6.5	7.0	7.0	6.7	6.8
		6月20日	(枚)	7.5	8.0	7.9	8.5	7.6	8.2
		6月30日	(枚)	8.9	9.1	9.4	9.8	9.1	9.4
		7月10日	(枚)	9.9	10.0	10.4	10.9	10.1	10.4
		7月20日	(枚)	10.3	10.2	11.1	11.2	10.4	10.5
		7月30日	(枚)	10.3	10.2	11.2	11.2	10.4	10.6
	止葉葉数	(枚)	10.3	10.2	11.2	11.2	10.4	10.6	
	m ² 当たり茎数	6月10日	(本)	333	255	333	285	303	247
		6月20日	(本)	523	549	490	614	457	506
6月30日		(本)	749	834	808	875	713	764	
7月10日		(本)	807	874	855	906	783	773	
7月20日		(本)	785	814	823	821	747	758	
7月30日		(本)	722	768	756	762	738	696	
草丈	6月10日	(cm)	23.9	26.3	21.7	24.9	23.6	27.3	
	6月20日	(cm)	30.0	34.7	26.9	31.8	30.5	36.9	
	6月30日	(cm)	38.7	47.8	36.0	44.4	43.1	50.0	
	7月10日	(cm)	53.3	60.8	50.8	57.3	58.9	64.3	
	7月20日	(cm)	63.1	75.6	58.9	70.9	69.5	80.1	
	7月30日	(cm)	77.2	83.6	73.3	80.2	83.9	87.6	
本田生育	稈長	(cm)	68.6	65.5	65.5	62.8	70.1	68.4	
	穂長	(cm)	15.6	16.1	16.4	16.9	16.4	17.1	
	穂数	(本/m ²)	711	755	726	714	647	678	
	有効茎歩合	(%)	88.1	86.4	84.9	78.8	82.6	87.7	
収量構成要素	一穂籾数	(粒)	44.1	42.4	49.2	42.4	51.8	50.6	
	m ² 当籾数	(×1000粒)	31.4	32.0	35.7	30.3	33.5	34.3	
	稔実歩合	(%)	73.5	92.3	63.3	91.8	71.7	91.4	
	m ² 当稔実籾数	(×1000粒)	23.1	29.5	22.6	27.8	24.0	31.4	
	登熟歩合	(%)	73.2	85.6	60.8	85.2	64.0	86.4	
	m ² 当登熟籾数	(×1000粒)	23.0	27.4	21.7	25.8	21.4	29.6	
	精玄米千粒重	(g)	20.5	21.9	20.9	22.8	20.6	21.9	
	籾摺歩合	(%)	74.3	78.0	77.3	79.7	78.0	80.6	
	屑米歩合	(%)	9.2	4.5	4.4	2.7	3.8	2.4	
収量	藁重	(kg/10a)	787	662	860	636	901	694	
	精籾重	(kg/10a)	619	710	532	742	549	769	
	籾藁比	(%)	79	107	62	117	61	111	
	精玄米重	(kg/10a)	460	554	411	591	428	620	
	収量比	(%)	83	-	70	-	69	-	
検査等級	(等)	1	1下	1	1	1	1下		

注1) 平年値:平成14、16、17、18、19年の5か年の平均。

2) 千粒重・精玄米重:粒厚1.90mm以上。水分15.0%に換算。

(2) 秋まき小麦 : 不良

事由：播種期は平年より2日遅い9月10日であった。越冬前の草丈は短く、茎数が少なく、葉数はやや少なかった。根雪始は平年より4日早かったが、根雪終は平年より6日早く、積雪期間は139日で平年より2日短かった。融雪が早かったため生育が進み、5月20日の調査では平年に比べ草丈が長かった。出穂期は平年より5日早い6月3日であったが、6月中旬以降、降水量が多く土壌が湿潤でかつ登熟後期(7月上中旬)は低温に経過したため登熟がやや緩慢となり、成熟期は平年より1日早い7月16日であった。成熟期における稈長、穂数は平年並であったが、穂長は短かった。千粒重は平年より重かったが、登熟後期の日照不足により子実の充実が劣ったことから、リットル重は平年よりやや軽く、この結果、子実重は平年比78%と低収であった。子実の充実が劣り検査等級は規格外であった。

したがって、本年の作況は不良である。

表5 秋まき小麦の生育および収量

品 種 名		ホ ク シ ン		
項 目	年 次	本 年	平 年	比 較
播種期	(月日)	9.10	9.8	2
出穂期	(月日)	6.3	6.8	5
成熟期	(月日)	7.16	7.17	1
越冬茎歩合	(%)	83.2	96.6	13.4
雪腐病発病度		28.1	31.2	3.1
葉数(枚)	H20.10.20	5.5	5.9	0.4
草 丈 (cm)	H20.10.20	20.7	29.4	8.7
	H21.5.20	48.4	42.8	5.6
	H21.6.20	93.1	92.2	0.9
茎 数 (本/ m ²)	H20.10.20	1069	1585	516
	H21.5.20	1153	1170	17
	H21.6.20	705	725	20
成 熟 期	稈 長 (cm)	85	83	2
	穂 長 (cm)	7.6	8.7	1.1
	穂 数(本/m ²)	682	681	1
子実重	(kg/10a)	529	679	150
同上	平年比 (%)	78	100	22
リットル重	(g)	766	785	19
千粒重	(g)	41.8	38.9	2.9
検査等級	(等)	規格外	2上	-

注1) 平年値は、前7か年中、平成14年、18年(収穫年度)を除く5か年の平均値。

2) は平年より早を、 は平年より減を示す。

(3) 春まき小麦 : 不良

事由：播種期は平年より3日早い4月17日であったが、播種後はやや低温に経過したため、出芽期は平年より1日早い5月2日であった。出芽期以降の気温は平年並から高温に経過したため、5月20日の調査では草丈、茎数は平年を上回っていた。5月下旬から6月上旬の気温はほぼ平年並みに経過し、出穂期は平年並であった。6月20日の調査では、草丈は平年を上回っていたが、茎数は5月下旬から6月上旬の降水量がやや少なく無効化が進んだため、平年並であった。7月中下旬は低温湿潤に経過したため成熟期は平年より5日遅かった。成熟期における稈長、穂長はほぼ平年並だが、穂数は平年より多かった。なお、6月23日と7月8日の降雨により倒伏が発生し、さらに7月下旬の降雨により全面的に倒伏した。総重は平年を下回り、倒伏による子実への転流が劣ったことから、千粒重が平年を下回り、子実重は平年比74%と低収となった。リットル重も平年より軽かった。検査等級は規格外であった。

したがって、本年の作況は不良である。

表6 春まき小麦の生育および収量

品 種 名		春 よ 恋		
項 目	年 次	本 年	平 年	比 較
播種期	(月日)	4.17	4.20	3
出芽期	(月日)	5.2	5.3	1
出穂期	(月日)	6.18	6.18	0
成熟期	(月日)	8.1	7.27	5
草 丈 (cm)	5月20日	25.2	19.6	5.6
	6月20日	84.1	74.4	9.7
茎 数 (本/m ²)	5月20日	899	616	283
	6月20日	666	672	6
成 熟 期	稈 長 (cm)	87	90	3
	穂 長 (cm)	8.8	8.4	0.4
	穂 数 (本/m ²)	587	485	102
総 重	(kg/10a)	1151	1309	158
子実重	(kg/10a)	410	556	146
同上	平年比 (%)	74	100	26
リットル重	(g)	741	807	66
千粒重	(g)	35.4	41.1	5.7
検査等級	(等)	規格外	2中	-

注1) 平年値は、前7か年中、平成15年、18年を除く5か年の平均値。

ただし、草丈及び茎数の平年値は、前6か年の平均値。

2) は平年より早を、 は平年より減を示す。

(4)大豆 : やや不良

事由：播種期は5月20日で平年並、出芽期は平年より3日早かった。出芽揃は概ね良好であった。6月中旬は気温が低く経過したため生育は停滞した。気温が6月下旬は平年より高く、7月上旬は平年並に経過したため生育は回復傾向であったが、7月中旬は低温に経過したため、開花期は平年より4日遅れた。7月下旬も低温に経過したが、生育は徒長し、7月下旬の降雨で一部倒伏した。8月上旬は天候が回復し、着莢は概ね順調であった。8月下旬以降、低温傾向に推移したことから、成熟期は平年より1日遅かった。主茎長は平年より長く、主茎節数は平年より多いが、分枝数は平年よりやや少なかった。着莢数は平年並であったが、百粒重は平年を下回ったことから、子実重は平年よりやや劣った。屑豆率は平年並であり、検査等級はほぼ平年並であった。

したがって、本年の作況はやや不良である。

表7 大豆の生育および収量

品 種 名		ユキホマレ		
項 目	年 次	本 年	平 年	比 較
播種期	(月日)	5.20	5.20	0
出芽期	(月日)	6.1	6.4	3
開花期	(月日)	7.14	7.10	4
成熟期	(月日)	9.22	9.21	1
主茎長 (cm)	6月20日	9.2	14.6	5.4
	7月20日	63.4	59.2	4.2
	8月20日	77.6	63.5	14.1
	9月20日	76.7	63.1	13.6
	成熟期	76.7	63.2	13.5
主茎 節数 (節)	6月20日	4.0	4.6	0.6
	7月20日	10.6	10.3	0.3
	8月20日	11.2	10.6	0.6
	9月20日	11.4	10.5	0.9
	成熟期	11.4	10.7	0.7
分枝数 (本/株)	7月20日	6.0	5.9	0.1
	8月20日	6.8	6.6	0.2
	9月20日	5.1	5.9	0.8
	成熟期	5.1	6.0	0.9
着莢数 (個)	8月20日	91	86	5
	9月20日	80	77	3
	成熟期	80	78	2
子実重	(kg/10a)	420	444	24
同上平年比	(%)	95	100	5
百粒重	(g)	35.5	38.4	2.9
屑豆率	(%)	1.3	1.1	0.2
検査等級	(等)	2上	2中	-

注1) 平年値は前7か年中、平成14年、18年を除く5か年の平均値。

2) は平年より早を、 は平年より減を示す。

(5) 小豆 : 平年並

事由：播種期は5月26日で平年より2日遅かった。播種後の気温はほぼ平年並に推移し、出芽期も平年より2日遅かった。出芽揃は良好であった。出芽後、6月中旬は低温に経過したため、主茎長、本葉数は平年を下回った。気温が6月下旬は平年より高く、7月上旬は平年並に経過し、生育は回復した。しかし、7月中下旬は低温に経過し、生育はやや緩慢となり、開花期は平年より2～4日遅かった。7月下旬の降雨で一部倒伏した。8月上旬は天候が回復し、着莢は順調に進み、土壌水分も十分であったことから、生育は徒長した。8月下旬以降、低温傾向に推移したため、成熟期は平年より7～9日遅かった。主茎長は、平年より長く、分枝数は平年並からやや少なかった。着莢数は平年並、百粒重は平年並かやや重かった。子実重は品種間で傾向が異なり、「エリモショウズ」では平年比92%とやや低収、「しゅまり」では同109%とやや多収であった。屑豆率は平年並であり、検査等級は平年並であった。

したがって、本年の作況は平年並である。

表8 小豆の生育および収量

品 種 名		エリモショウズ			しゅまり		
項 目	年 次	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
播種期	(月日)	5.26	5.24	2	5.26	5.24	2
出芽期	(月日)	6.10	6.8	2	6.10	6.8	2
開花期	(月日)	7.25	7.21	4	7.24	7.22	2
成熟期	(月日)	9.13	9.6	7	9.15	9.6	9
主茎長 (cm)	6月20日	3.3	4.4	1.1	4.1	5.6	1.5
	7月20日	24.1	23.5	0.6	26.0	24.4	1.6
	8月20日	73.7	56.3	17.4	81.6	61.7	19.9
	成熟期	81	58	23	85	62	23
本葉数 (枚)	6月20日	0.3	1.2	0.9	0.3	1.2	0.9
	7月20日	7.6	8.0	0.4	7.3	7.8	0.5
	8月20日	12.1	12.3	0.2	11.9	11.9	0.0
分枝数 (本/株)	7月20日	4.4	4.2	0.2	5.6	4.5	1.1
	8月20日	4.2	4.8	0.6	5.6	5.6	0.0
	成熟期	3.7	4.5	0.8	5.0	4.9	0.1
着莢数 (個)	成熟期	55	54	1	54	51	3
子実重	(kg/10a)	335	363	28	359	328	31
同上	平年比 (%)	92	100	8	109	100	9
百粒重	(g)	13.1	12.7	0.4	12.9	12.1	0.8
屑粒率	(%)	1.1	1.1	0.0	1.3	1.6	0.3
検査等級	(等)	3上	3上	-	3中	3中	-

注1) 平年値は、前7か年中、平成15年、16年を除く5か年の平均値。

2) は平年より減を示す。

(6) ばれいしょ : やや良

事由: 植付期は5月8日で平年より1日遅かった。その後の気温は平年よりやや低く経過したが、萌芽期は平年と同じ5月25日であった。6月上中旬は日照が少なかったため、徒長気味の生育となった。開花始は平年より2日遅かった。その後、7月中旬の気温は低かったが生育はおおむね順調であった。8月上旬には天候が回復したため枯凋が進み、枯凋期は平年より1日早い9月1日であった。株当たり上いも数は平年よりやや多く、上いも平均一個重は平年よりやや軽く、上いも収量、中以上いも収量および規格内収量は、いずれも平年を上回った。なお、でん粉価は平年より0.3%低かった。

したがって、本年の作況はやや良である。

表9 ばれいしょの生育および収量

品 種 名		男 爵 薯		
項 目	年 次	本 年	平 年	比 較
植付期	(月日)	5. 8	5. 7	1
萌芽期	(月日)	5.25	5.25	0
開花始	(月日)	6.24	6.22	2
枯凋期	(月日)	9. 1	9. 2	1
茎 長 (cm)	6月20日	44.5	32.3	12.2
	7月20日	54.7	45.7	9.0
上いも数 (個/株)	7月20日	10.9	9.0	1.9
	8月20日	11.8	11.2	0.6
上いも平均 一個重 (g)	7月20日	85	73	12
	8月20日	111	103	8
上いも収量 (kg/10a)	7月20日	4125	2918	1207
	8月20日	5425	5061	364
でんぷん価 (%)	7月20日	13.9	13.5	0.4
	8月20日	14.9	14.8	0.1
収 穫 期	上いも数(個/株)	13.3	11.7	1.6
	上いも平均一個重(g)	92	97	5
	上いも収量(kg/10a)	5393	5019	374
	中以上いも収量(kg/10a)	4626	4330	296
	規格内収量(kg/10a)	4247	4052	195
	でん粉価(%)	14.7	15.0	0.3
対平年比	上いも収量	107	100	7
	中以上いも収量	107	100	7
	規格内収量	105	100	5

注1) 平年値は、前7か年中、平成16年、19年を除く5か年の平均値。

2) は平年より早を、は平年より減を示す。

3) 規格内収量は、生食用規格内(M~2L、60~260g/個)の収量である。